7、21

賀川久留の兩氏が 大西警部等を訴ふ

勞働爭議に就て 成功保障の契約をしたと 職工を教唆した廉で

川崎造船所職工宇野金重外三名が十九日午後三時頃川崎小學校前に於て二十日兵庫明治座に於て開催さるべき勞働問題講演會の宣傳ビラを貼り和田橋署巡査が認め檢束の上本署に引致した其際同警大西主任部及び數名の刑事が右三名に對し今回の勞働爭議に就て成功保障の契約を行ふて爲し居るものにして君等は全く兩氏の爲め喰物にされ居るを知らざるか云々と教唆したこの事は友愛會賀川豐彦、久留弘三の兩氏が成功保障契約を行ふて爲し居るものにして君等は全く兩氏の爲め喰物にされ居るを知らざるか云々と教唆したこの事の告訴を提起すると（神戸電話）

給料を受取つて歸る川崎の職工

上京した三菱職工 岩崎社長を追ひ廻す

男爵邸では會社でと逃られ 會社に行つたが突放さる

神戸三菱造船所の職工代表連は十八日提出條件を一蹴されたので十九日午前更に協議の結果午後二時神田の岩崎男邸に押掛け男に會見を求めたが本社で逢ふとの取次の挨拶に更に丸の内の本社を訪問したが其處でも岩崎男は逢つて呉れず青木技師代つて面會し代表連より男爵との會見を極力迫つたが青木技師は十八日武田會長から十分說明してあるからとて押問答の末遂に面會出來ず四時半引上げた（東京電話）

砂田氏等が 出兵要求と

檢束處分の調査 友愛會で解職者 復職運動協議中！

神戸勞働爭議に於て有吉兵庫縣知事の執りし出兵要求並に檢束不穩分子なりとして檢束する當局の處置に就き調査する爲め砂田國民黨代議士、今井嘉幸博士、高山樗護士等は十九日午前九時友愛會神戸本部に至り賀川豐彦、久留同會支部長を囲繞して極力調査の歩を進めて居るが友愛會では今次突如として解職され川崎、三菱兩工場職工に對し復職方法並に對應策に就き協議中である（神戸電話）

要求案大部分 容れられしも

全部を要求して 拒絶されたダンロップ

ダンロップ神戸極東工場では會社側に於て大部分要求案を認容したるに對し職工側にては此際全部容れられたしと申し出たので十九日會社側は斷然之れを拒絶したる爲め職工側意業狀態に入り委員等は集合し目的の貫徹に努めてゐる（神戸電話）

更に一名收監

梶原特高課長と 檢事正の會見

夕刊所報の如く神戸に於ける勞働爭議の結果遂に神戸地方裁判所の物々敷い大活動が開始され頻々として檢事連に就き徹夜して檢事局處掛で取調を進行しつゝあつたが十九日午後四時川崎造船所職工市堅晋柳善一郎（三十四）は遂に騷擾罪として起訴され橘分監に收監さるゝに至つた又同日午後五時突如檢事正と共に會議室に委ん消し何事か秘密裡に約一時間に亘りて協議する處があつた（神戸電話）

署長さんのペテンに 職工代表連憤る

岩崎男に到頭逢はれず 名神戸へ引揚げ

連日の奮闘ひにもひるまず神戸三菱造船所の上京委員八名は廿一日午前九時から友愛會の秋山、石山外二名の幹部の上京委員今吉外二名の應援を受け共に武田紅梅町の岩崎男邸に押掛け例により男に面會を強要して居ると午後三時半警察部西神田署長が來て解散を命じたので小競合を演じ次いで午後二時半竹内西神田署長は單身は一人は一人は委員を内部に誘ひて說伏する事一時間遂に署長は男との面會の爲めに一旦解散し會社と電話で交渉の末「責任の中」

砂利道に寢て 男爵を待つ

三菱委員の行動

社へ赴いたとの事で然らばと委員等は電話を本社へ掛け會見を迫つたが依然面會の必要なしの一點張りで受付けぬので此上は持久戦を敢行するの外はないと一同邸前の砂利道の日陰に寢轉んで逢へる迄待つと頑張つて居る今日は岩崎家でも多少警戒を厳にし洋館内には官私服の警官數名邸の周囲にも十數名の警官が派遣されて居る委員等は神戸の本部へ教金の補充送金を頼んで何時迄でも居ると云つて居る

東京の演說會

鈴木氏彌次らる

神戸の三菱からの上京代表中村外七名は友愛會の代表二名附添で今廿一日も又午前九時から神田区東紅梅町の岩崎男邸に押かけ是非男爵に面會したいと申込んだ然るに男爵は昨夜遂に歸邸したが今朝は既に昨夜から丸の内の本社へ赴いたが會社へ行つた者は一人として取次よりの會を拒絶する旨を聞へ「是れ以上君等に於て力尽をさるならば安の上から斷然たる處分をするから」と言ふ豫想外の答へに一同憤し五時勞働歌をうたつて本部に引き上げたが本部では

鈴木會長 松岡理事と協議の結果岩崎男との面會は一時中止し一日休戦するとなり同夜十一時東京麻布列車で出發したが歸神の上更に熱烈を飛ね再び上京し今度は具體的方法で猛烈な運動を開始すると揚言してゐた

一名のみ發言する場合一を除外し三菱社へ赴いたが會社へ行つた者の總數は一人として取次よりの會を拒絶する旨を聞へ「是れ以上君等に於て力尽をさるならば安の上から斷然たる處分をするから」と言ふ豫想外の答へに一同憤し五時勞働歌をうたつて本部に引き上げたが本部では

鈴木會長 松岡理事と協議の結果岩崎男との面會は一時中止し一日休戦するとなり同夜十一時東京麻布列車で出發したが歸神の上更に熱烈を飛ね再び上京し今度は具體的方法で猛烈な運動を開始すると揚言してゐた

東京の演說會 鈴木氏彌次らる

友愛會では十九日午後六時から芝園橋の部に於て三菱造船所の上京代表と職工代表と聯盟の演說會を開き秋田彌之助氏の開會の辭

三菱職工 代表と聯盟の演說とやつた

三菱職工代表の報告は元浸なりとて會者から演說中止を唱へた等のごたゝがあり次で各勞働組合代表の演說終つて友愛會鈴木文治氏の演說最中に鈴木は勞働者を售るものであるとの爲めに彌次を浴び場は混亂し彌次を頻発に

昇ぎ出し た等の御家騒動があり十時四十分頃終つたが演說隊の焦點は何れも神戸勞働爭議に軍隊の力を借りた點であつた夫より三田通りの米華堂で前記上京委員一同を主賓として懇親會を開いて十二時頃散會した（東京電話）

職工行商姿